えひめ日本語ネットワークNEWS

第１０号　２０２０．７

日本での生活体験

皆さん、ハンガリーという国がどこにあるかご存知ですか？

私はヴェレシュ・バログ・アダムと申します。ハンガリー人です。去年一年間松山に住んでいました。もうずっと前から日本に興味があったので、ワーキングホリデーで日本に行くことにしました。

最初は日本語が全く分かりませんでした。空港からタクシーで松山の中心街に行った時、運転手さんとも全然話せなかったので、行きたかった場所を携帯電話で見せました。あの時からもうたくさんの時間が過ぎましたが、とても緊張していたのを今でもまだよく覚えています。

一年の間にたくさんいい経験ができて、たくさんすばらしい方とも出会って、私の人生観も変わりました。最も記憶に残っているものの一つは夏に行った瀬戸内海のたくさんの美しい島々です。松山に一番近い興居島には何回も行ったことがあります。うさぎがいっぱいいるウサギ島も猫がいっぱいいる猫島もとても面白かったです。島の自然はすごくきれいですし、ハンガリーには日本のように海も島もないのでとても珍しく、大好きになりました。

日本語も勉強して能力試験N3に合格できたのは何よりも先生たちのおかげです。今、私は日本を第二の故郷のように感じています。帰国して、とても寂しい思いです。またぜひ日本に戻りたいと思っています。

ヴェレシュ　バログ　アダム

アダムさんは2019年5月に日本語能力試験の申し込みを忘れていたので、12月には受験したいと言って若草日本語教室に来ました。とても熱心に、ほとんど休むことなく日本語能力試験の勉強を続けたのが印象に残っています。12月に受験を終えても、帰国直前まで教室に通って日本語を勉強したのには教師も驚き、その熱心さに感服しました。もちろんN3には見事合格これからもN2の勉強を続けるそうです。がんばってください。

（塩入愛子）

若草日本語教室～日本語能力試験対策に携わって25年～

松山市総合福祉センターで日本語能力試験対策の指導を始めて25年になります。日本語能力試験は日本語が母語でない人の日本語能力を測定する試験で、個人の実力判定や進学はもちろん、入社試験、国家試験、昇給などにも活用されています。

今までの日本語教育は話し言葉重視の観点から初級は「聞く・話す」が中心で、「読む・書く」は二義的なものでした。しかし、30数年前に日本語能力試験が開始されると、N5（初級レベル）から漢字の読み書き、読解力が試されるようになり、文法も文章の流れを把握する新しい問題が増えてきました。N5で100の漢字を習得するのは非漢字圏の学習者にとってハードルが高いものです。話し言葉中心の教育を受けてきた学習者は漢字が覚えられない、文章が読めない、読んでも意味が分からないなどの切実な問題と向き合っています。

現在若草日本語教室では日本語能力試験合格を目指して、非漢字圏、漢字圏の学習者10名を8名のボランティア教師が支援しています。せっかく習っても、すぐ忘れる、定着しないという声をよく聞きます。どうしたら習ったことが覚えられるようになるのでしょうか。学んだ新しい情報は脳の短期貯蔵庫に保持されますが、1週間ぐらいで消えてしまうと言われています。短期貯蔵庫の記憶を長期的な記憶として長期貯蔵庫に移行させるには反復学習、つまり短い間隔で繰り返し復習することが必要です。一度長期貯蔵庫に転送されたら、忘れることはありません。ただし、整理して保存しないと、記憶が取り出しにくくなります。長期保存に移行する際には、優先順位があって、反復学習の回数の多いもの、印象の強烈なもの、自分にとって好きなもの、有利なものほど重要なものとして深く定着する可能性があります。

このような脳の仕組みを考えると、教師はインパクトのある導入を心がけることが大切です。また、合格するためには、学習者のやる気、学ぶことが楽しいと思う気持ちが必要です。教師は学習者のやる気を後押し、学習者は反復学習するたゆまぬ努力を続けることが合格への鍵になるのではないかと思います。

（塩入愛子）

学びのコーナー

学習者からの質問は宝です。質問に啓発されて勉強することも多く、自分自身のスキルアップにつながります、どんな質問にも即座に学習者の納得を得られる解答ができるように研鑽を積みたいものです。

今回は初級、初級後半～中上級編に分けました。ご解答をお寄せいただければ嬉しいです。

〈初級編〉

・私がお花見に行きましたは松山城ですが、キムさんが行きましたは道後公園です。

・先生の家へ行きました。

「もう、私はお帰りします」と言いました。（謙譲語お～します）

・私は子供を車に乗らせました。

・国から父が来ました。先生は父に会いたいですか。

・子供のとき今まで覚えています。

〈初級後半～中上級編〉

類義語に関する質問。夫々の言葉の意味用法を例文と共に説明してください。

① 疲れる／くたびれる

② はらはら／ひやひや

③ 怖い／恐ろしい

④ いつも／普段

⑤ 案外／意外

次の言葉の使い分けを教えてください。

変わる、代わる、替わる、換わる

気遣い、心遣い、気配り、心配り

（宇野美登里）

私は、平成21～23年度、愛媛県から（財）愛媛県国際交流協会（EPIC）へ派遣されたが、異国の地で日本語を真面目に勉強している外国人と、実践的な日本語を親身になって教えている先生の姿は、強く印象に残っている。今回、思い立ってボランティア日本語教師育成講座に申し込み、最初の講座でEPIC時代に大変お世話になった宇野美登里先生が講師を務めておられることを知って驚いた。今後、ご指導を仰ぎながら学習に精励し、いつの日か「日本語を教えることができる」ように頑張りたいと思う。（末光雄二）

令和2年度役員および担当者

代表　塩入　愛子
事務局　青野　愛、川原　真美子
会計　西原　桂
広報　木原　道世、五島　靖子、澤田　洋子、見山　隆久、山本　栄美子
イベント係　阿部　恵子、森下　房子
ホームページ係　リチャードNg
初級Iお世話係　小林　圭美　初級IIお世話係　木原　道世
実践コースお世話係　川原　真美子
地域連絡係　高松地区　前田　恵子　今治地区　森山　るみ
会計監査　上甲　いづみ

【新広報メンバーの紹介】

見山　隆久・・・私は2001年から11年間3か国に渡って海外生活を送ってきました。その中で、いずれの国でも現地の人たちの温かい支援と日本に対する憧れを強く感じてきました。今、日本にはたくさんの外国人が来日し、また居住していますが、日本をより知っていただくことや快適な生活を送っていただくお手伝いを出来ればうれしく思います。

木原　道世・・・昨年から日本語教師育成講座を受講しています。受講し始めてから自分が使っている日本語を改めて意識するようになりました。自分自身もきちんとした日本語を使えるように勉強していきたいと思います。よろしくお願いします。

山本　栄美子・・・学生時代に日本語を教えることに興味を持ちましたが、そのままになっていました。昨年から勉強会に参加するようになり日本語の難しさに改めて気づかされました。これから多くのことを学んでいきたいと思います。よろしくお願い致します。

◆新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月号は休刊になりました。

問い合わせ先：えひめ日本語ネットワーク事務局

Email ： ehime-nihongo@nifty.com